

東京民医連

東日本大震災 ニュース

2011年4月22日

No.55

発行：東京民医連事務局

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>

電話：03-5978-2741

FAX：03-5978-2865

メール：sien@tokyominiren.gr.jp

毎月の積みたてで経済支援・健文「大震災支援募金」

健康文化会では、今後の東日本大震災の支援活動が長期化する中で、患者・利用者さんをお願いする窓口での募金活動とは別に、職員（非常勤職員も含む）の毎月の給与天引きによる『東日本大震災支援募金』を設立しました。一口千円で、期間は当面 2012 年 3 月までです。毎月集まった募金は全日本民医連に送付し、理事会にも到達点を報告します。被災地への支援活動は、被災者の生活再建も民医連事業所の医療や経営再建も含めて長期化する見通しです。そうした中で、継続的な経済支援として位置づけられた今回の積み立て募金形式は、画期的な取り組みです。

福島・小名浜で地域訪問活動の支援を開始

いよいよ小名浜生協病院の所在地であるいわき市の地域訪問活動を行う事が決まりました。いわき市の被害はあまり報道されませんが、津波とその後の原発で2重に苦しめられています。私たちは現地の職員、関東地協の仲間とともに海岸線から 300m までの地域の組合員、住民の方々を訪問します。活動内容は津波被害や生活、医療や介護でお困り事の相談が主となります。詳しい通達は全日本民医連から近々出されますが、概要は以下の通りですので積極的に位置づけ参加しましょう。現地では、東京民医連の吉田孝喜氏、健生会の田村氏が事務局を担当します。

1. 訪問期間

2011年4月25日（月）～4月30日（土）

2. 訪問地域

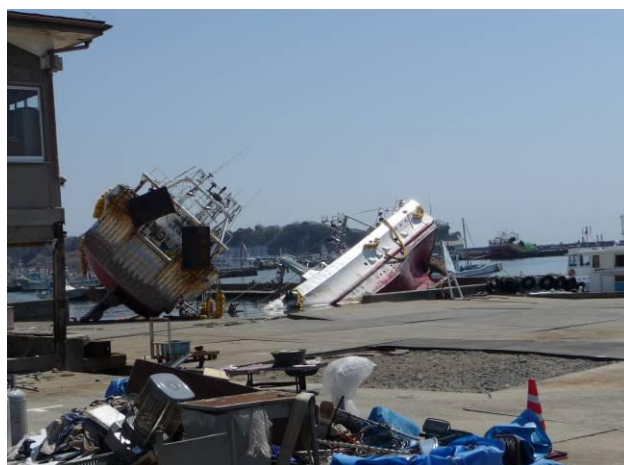
いわき市海岸線から 300m の地域の組合員・住民

3. 担当地協

関東地協（東京、神奈川、千葉、茨城、栃木）

4. 宿泊場所・食事

いわき市内に宿泊、1泊2食付き、お風呂有



東京民医連から5800万円を超える義援金

全日本民医連全体では約2億円

東日本大震災の発生からはや 40 日が経過しました。東京民医連では震災直後から義援金活動を立ち上げ、各法人・事業所の協力のもと取り組みを行ってきました。あるときは街頭で、またあるときには職場で募金活動を行い、その総額は 4 月 21 日現在で 5800 万円を超えました。全日本民医連全体では約 2 億円の到達ですので、うち 3 割を東京民医連が担っています。